

高校英語教科書における「言語の使用場面」の扱い  
'Language-use Situations' in English Senior High School Textbooks  
—学習指導要領（外国語）を中心に—  
— Through the Course of Study for Foreign Languages —

吉野 康子  
Yoshino Yasuko

**Abstract**

All senior high school English textbooks must follow the government guidelines prescribed in 'The Course of Study for Foreign Languages', which emphasizes 'Language Activities', particularly in the forms of 'Language-use Situations' and 'Functions of Language'. The goal is to develop students' basic abilities to understand and convey information, ideas, etc. by listening to or speaking English, and to foster a positive attitude toward communication through dealing with everyday topics.

'Language-use Situations' means specific situations which require appropriate languages. These 'Language-use Situations' can be classified as the following types of communications, 1) Situations for communication on an individual basis, 2) Situations for communication in groups, 3) Situations for communication aimed at a large number of people, 4) Situations for creative communication. In order to pursue these objectives, various topics and subject matters are taken up.

This paper will discuss the significance and difficulty of 'Language-use Situations' for senior high school textbooks currently being used.

**はじめに**

「言語の使用場面」とは、言語が使用される具体的な場面のことである。平成11年度版の学習指導要領において「実践的コミュニケーション能力の育成」が明記され、言語活動がますます重視されている。高校の学習指導要領においては、「言語の使用場面と働き」が強調され、「言語の使用場面」については、1) 個人的なコミュニケー

シヨンの場面， 2) グループにおけるコミュニケーションの場面， 3) 多くの人を対象としたコミュニケーションの場面， 4) 創作的なコミュニケーションの場面， と 4 つの場面例を規定し，すべての教科書にその 4 つの場面が含まれている。本稿においては，学習指導要領における「言語の使用場面と働き」を概観し，その導入までの変遷や背景について考える。コミュニケーション導入理由とその背景に関しては，Communicative Approach について触れる。それらをふまえて，2008年度版の高校英語教科書において，「言語の使用場面」がどのように位置づけられているのかを具体的に紹介し，その意義や問題点について述べたい。

## 1. 学習指導要領における「言語の使用場面」の概観

学習指導要領（外国語）の高校版は，全体の目標の後は，各科目に分かれている。各科目は，オーラル・コミュニケーションⅠ，オーラルコミュニケーションⅡ，英語Ⅰ，英語Ⅱ，リーディング，ライティングの 6 種類である。各科目別の目標の後に，内容が明記され，1) 言語活動，2) 言語活動の取り扱い，3) 言語材料について書かれている。「言語の使用場面」は，2) 言語活動の取り扱いの中に含まれる。以下は，英語Ⅰの例である。

### 1) 言語活動

生徒が情報や考えなどの受け手や送り手になるように具体的な言語の使用場面を設定して，次のようなコミュニケーション活動を行う。

- ア 英語を聞いて，情報や話し手の意向などを理解したり，概要や要点をとらえたりする。
- イ 英語を読んで，情報や書き手の意向などを理解したり，概要や要点をとらえたりする。
- ウ 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えについて，話し合ったり意見の交換をしたりする。
- エ 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて，整理して書く。

### 2) 言語活動の取り扱い

#### ア 指導上の配慮事項

(1) に示すコミュニケーション活動を効果的に行うために，必要に応じて，次のような指導をするように配慮するものとする。

- a) リズムやイントネーションなど英語の音声的な特徴に注意しながら，発音すること。
- b) コミュニケーション活動に必要な基本的な文型や文法事項などを理解し，実際に活用すること。

c) まとまりのある文章を音読したり暗唱したりして、英語の文章の流れに慣れること。

d) ジェスチャーなどの非言語手段の役割を理解し、場面や目的に応じて効果的に用いること。

#### イ 言語の使用場面と働き

(1) の言語活動を行うに当たっては、主として言語の使用場面と働きの例のうちから目標を達成するのにふさわしい場面や働きを適宜取り上げ、有機的に組み合わせ活用する。その際、聞いたり読んだりした内容について、自分の意見をまとめ、それを発表するなど、総合的な言語活動の場面を設けるよう配慮するものとする。

各科目の最後はライティングの項目であり、その後に次のような場面例が掲載されている。

#### 〔言語の使用場面の例〕

##### ① 個人的なコミュニケーションの場面

電話、旅行、買い物、パーティ、家庭、学校、レストラン、病院、インタビュー、手紙、電子メールなど

##### ② グループにおけるコミュニケーションの場面

レシテーション、スピーチ、プレゼンテーション、ロール・プレイ、ディスカッション、ディベートなど

##### ③ 多くの人を対象としたコミュニケーションの場面

本、新聞、雑誌、広告、ポスター、ラジオ、テレビ、映画、情報通信ネットワークなど

##### ④ 創作的なコミュニケーションの場面

朗読、スキット、劇、校内放送の番組、ビデオ、作文など

以上の4つの参考例は、英語 I に限らず、それぞれの科目の教科書に一つずつ含まれている。なかでも、多くの人を対象としたコミュニケーションの場面と、創作的なコミュニケーションの場面に関して、具体的に教科書の例で示し考察する。

## 2. 「言語の使用場面と働き」導入までの変遷

### (1) 学習指導要領の変遷

学習指導要領の変遷を言語活動中心に追うと、次頁の表のようになる。

1947、1951年版はまだ法的拘束力のない試案の形であり、教師が実践する際の手引き書であるが、すでに言語活動の具体例は入っている。1969年版より、学習活動とい

う言葉が消え、言語活動重視の時代となり、「知って覚える」から「使って身につける」方向へと進んできた。1977、1978年版は、大幅な内容削減となり、言語活動が一層重視されている。この当時、高校入学者が9割を超え、過熱する受験戦争とその結果としての知識偏重やひずみからくる非行問題も意識し、ゆとりある充実した学校生活をめざす主旨の表れである。1989年版で、初めてコミュニケーションという言葉が入り、「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成」が明記された。そして1998、1999年版では「実践的コミュニケーションの育成」と、「実践的」という言葉が加えられた。全体的に減量化する中で、この改訂での新しい要素が「言語活動の取り扱い」の頁に示された「言語の使用場面と働き」リストである。この例示により、コミュニケーション活動をより実践的に設定するよう求めることが具体的に示されている。

(江利川2006, 古賀2000, 森住1995)

年 度	中学・高校の区別	備 考
1947(昭和22)年版	中・高等学校 試案	英語主導、「聴き方と話し方」に日常会話、朗読、劇、演劇、討論など
1951(昭和26)年版	中・高等学校 試案	教師に対して示唆的であり、現場での参考資料的な性格
1955(昭和30)年版	高等学校	第二外国語(独・仏)の履修が可能
1958(昭和33)年版	中学校	教育課程の基準として法的拘束力、「言語材料」の後に「学習活動」
1960(昭和35)年版	高等学校	外国語必修、科目の難易の分化、言語材料の膨張
1969(昭和44)年版	中学校	学習活動から言語活動重視へ：〈知って覚える〉→〈使って身につける〉
1970(昭和45)年版	高等学校	外国語教科が選択に回帰、英語会話と初級英語の新設、英文法教科書
1977(昭和52)年版	中等学校	「週3」公示、文型・文法事項激変、言語活動一層の重視
1978(昭和53)年版	高等学校	ゆとりある学校生活の実現へ大幅な内容削減。文法教科書の消滅
1989(平成元)年版	中・高等学校	積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を明記
1998(平成10)年版	中学校	外国語必修、実践的コミュニケーション、「言語の使用場面と働き」
1999(平成11)年版	高等学校	外国語必修、実践的コミュニケーション、「言語の使用場面と働き」
2008(平成20)年版	中学校	「週4」へ回帰、語数の増補、「実践的コミュニケーション」へ傾斜してきたが、「実践的」ということばがなくなる

(2) コミュニケーション導入理由とその背景

Communicative Approach とは、コミュニケーション能力を養成することを目的とした教授法の総称であり、日本の英語教育において実用面重視に強い影響力を与えている。1971年に、欧州協議会はヨーロッパの統合やEC強化には、コミュニケーション中心の外国語教育の必要性を説き、ウィルキンズらが言語の概念や機能を中心としたシラバスを開発した。この概念・機能シラバスを取り入れ、言語を場面や文脈と結びつけながら実際の教室活動でも、できるだけ現実の場面に近づけ、どんな場面で、どんな言い方をして、どのように目的を達するかを考えることに焦点がおかれている。1980年代になると、従来の構造中心の外国語教育から、意味の伝達能力を目的とするこのアプローチが世界的潮流となり、日本でも「伝達する」側面が強調された。学習指導要領において、「コミュニケーション」を強調し、意味・内容にあった言語活動を求めながら、言語材料は制限があるという矛盾もある。

(小寺2005, 田中2000, 森住2000, 樋口2007, 吉島・大橋2004, Savignon2002)

1971年	欧州協議会 (Council of Europe) は、ヨーロッパの統合、EC 強化のためコミュニケーション中心の外国語教育の具体策を委嘱
1976年	<i>Notional Functional Syllabus</i> , D.A. Wilkins <i>The Threshold Level of Modern Language Learning in Schools</i> , Van EK : 言語の概念や機能を中心としたシラバス
1980年代	言語能力よりも意味の伝達能力を主たる目的とするこのアプローチが世界的な潮流

3. 高校英語教科書（英語 I）における「言語の使用場面」の意義と問題点

(1) 意義

a) Communicative Approach の長所

言語知識と言語運用が分離しない構造のため、場面・状況に応じた表現力が身につく良さがある (小寺2005)。正確でなくても、意志の伝達に重点を置くので、コミュニケーションができるという満足感を生徒に与えることができる。また共同作業を行うことにより、協調性が養われる利点もある。

b) 教科書における「言語の使用場面」

「言語の使用場面」の4つの例のうち、1) 個人的なコミュニケーションの場面、と2) グループにおけるコミュニケーションの場面、はすべての教科書に自然に含まれている。

次の2頁がそれらの例である。1) の個人的なコミュニケーションの場面例は、啓

林館の *English Course I* において、‘Dreamers, Achievers’ という課で、星野仙一氏に高校生がインタビューをして、小さい頃の思い出や、夢をもつ生き方に触れている。また 2) のグループにおけるコミュニケーションの場面は、東京書籍の *PROMINENCE English I* において、“You Can Change the World!” という課で、地球環境サミットでのセヴァン・カリス＝スズキさんのスピーチを扱っている。

(1) 個人的なコミュニケーションの場面例

電話、旅行、買い物、パーティ、家庭、学校、レストラン、病院、インタビュー、手紙、電子メールなど

(英語 I の教科書例)①



1 “I WANNA WIN!”

I had imagined him as a “tough father” type. Yet, I found him friendly. —Yuka—

During the season, you said over and over in Kansai Japanese, “I WANNA WIN!” The words moved not only the players but also a lot of other people. What was the magic?

Many people think that I wanted my team to win. Actually, the expression means that I want to win in life itself. I want to win in everything I do. If you want to win, you will try harder and think of new ways to improve yourself.

---

**dreamer** /drɪːmə/    **achiever** /ətʃiːvə/    **achieve** /ətʃiːv/    **professional** /prəˈfeʃənəl/  
**opportunity** /ɒpərt(j)uːnəti/    **former** /fɔːrmə/    **manager** /ˈmænɪdʒə/    **championship** /tʃæmpjənʃɪp/  
**imagine** /ɪmædʒɪn/    **tough** /tʌf/    **friendly** /frɛndli/    **magic** /mædʒɪk/    **expression** /ɪksprɛʃən, eks-/    **improve** /ɪmˈpruːv/

---

(7). **lead A to B** =take A to B: Mary *led* the dog to its own house.    3. **over and over** =many times: She learned the word by saying it *over and over*.    4. **wanna do** =want to do    4. **not only A but also B**: The boy was *not only* tired *but also* sad.

- 
- ① What did Mr. Hoshino talk about in the interview?
  - ② What does Mr. Hoshino’s expression “I WANNA WIN!” actually mean?
  - ③ What kind of person is Mr. Hoshino?

- (2) グループにおけるコミュニケーションの場面例  
 レシテーション、スピーチ、プレゼンテーション、ロール・プレイ、ディスカッション、ディベートなど

(英語 I の教科書例)②

<p>▶</p> <p><b>Severn</b> [sévərn]  <b>environmental</b> [invà:ənméntl]  <b>ECO</b> [i:kou]  <b>organization</b> [ò:rgənəzéiʃn]</p> <p><b>hidden</b> [hídn]  <b>agenda</b> [ədʒéndə]</p>	<p><b>Part 1</b></p>	<p>セヴァンさんが、地球環境サミットの参加者に訴えたかったことは何でしょうか。</p> <p><sup>1</sup> Hello. I'm Severn Suzuki speaking for ECO, the Environmental Children's Organization. We're a group of twelve- and thirteen-year-olds from Canada trying to make a difference. Coming up here today, I have no hidden agenda. I am fighting for my future.</p>
<p><sup>1</sup> <input type="checkbox"/> <b>speak for ~</b> Yuki <i>spoke for</i> all the club members.</p>		
<p><sup>3</sup> <input type="checkbox"/> <b>twelve- and thirteen-year-olds</b> 12歳と13歳のこどもたち</p>		
<p><sup>4</sup> <input type="checkbox"/> <b>make a difference</b> Learning English will <i>make a difference</i> to your life.</p>		
<p><sup>4</sup> <input type="checkbox"/> <b>Coming up here today</b> 今日ここに来て</p>		
<p>G4 The girls <i>playing catch</i> are Yukiko and Eri.</p>		
<p><sup>2</sup> I'm here to speak for all generations to come. I am here to speak for the hungry children around the world. I am here to speak for the animals dying across the planet.</p>		
		<p><b>generation</b> [dʒénərəiʃn]</p>
<p><sup>3</sup> I am afraid to go out in the sun now because of the holes in the ozone. I am afraid to breathe the air because I don't know what chemicals are in it. Now animals and plants are becoming extinct every day.</p>		
		<p><b>hole</b> [hóul]  <b>ozone</b> [óuzoun]  <b>breathe</b> [bri:ð]  <b>chemical</b> [kémikl]  <b>extinct</b> [ikstɪŋkt]</p>
<p><sup>5</sup> <input type="checkbox"/> <b>because of ~</b> <i>Because of</i> the heavy rain, we couldn't get to the station.</p>		
<p><sup>5</sup> <input type="checkbox"/> <b>the holes in the ozone</b> オゾンホール(オゾン層のうちオゾンが極端に希薄になった領域。the ozone holeと言うのが普通。)</p>		
<p><sup>7</sup> <input type="checkbox"/> <b>I don't know what chemicals are in it.</b> ➔G6</p>		
<p>Q1 What does ECO stand for?</p>		
<p>Q2 Who is Severn Suzuki speaking for?</p>		

3) の多くの人を対象としたコミュニケーションの場面は、英語 I の36種類の教科書のうち、14種類が、教材の一部として自然に導入されている。次に例示する2つがその例である。

③は、数研出版の *POLESTAR English Course I* における 'Ono Yoko' の課で、

彼女の生い立ちから生き方，詩やポスターが自然に紹介されている。④は教育出版の *Lingua-Land English Course I Revised Edition* において 'The Only Japanese on the Titanic' の課で，タイタニック号にただ一人乗船していた細野正文氏に視点をあてている。

- (3) 多くの人を対象としたコミュニケーションの場面例  
 本、新聞、雑誌、広告、ポスター、ラジオ、テレビ、映画、情報通信ネットワークなど  
 (英語 I の教科書例)③

**TAPE PIECE III**

**Snow Piece**

Take a tape of the sound of the snow falling.  
 This should be done in the evening.  
 Do not listen to the tape.  
 Cut it and use it as strings to tie gifts with.  
 Make a gift wrapper, if you wish, using the same process with a phonosheet.

1963 autumn

**ROOM PIECE III**

Stay in a room for a month.  
 Do not speak.  
 Do not see.  
 Whisper in the end of the month.

string(s) [stri:p(z)] ひも  
 tie [tai] くくる  
 wrapper [ra:pa:] 包み紙  
 process [pra:s | prou-] 過程  
 phonosheet [founoufi:t] ソノシート，紙またはビニールでできたやわらかいレコード盤。

from *GRAPEFRUIT* by Yoko Ono

(英語 I の教科書例)④

次はタイタニック号の事故についての当時の新聞記事です。見出しからわかることを書き出してみましょう。

"All the News That's Fit to Print." **The New York Times.** THE WEATHER.

VOL. LXXI, NO. 13,806 NEW YORK, TUESDAY, APRIL 15, 1912 THIRTEEN PAGES. ONE CENT

**TITANIC SINKS FOUR HOURS AFTER HITTING ICEBERG;  
 866 RESCUED BY CARPATHIA, PROBABLY 1250 PERISH;  
 ISMAY SAFE, MRS. ASTOR MAYBE, NOTED NAMES MISSING**

Col. Astor and Bride, Isidor Straus and Wife, and Maj. Butt Aboard.  
 "RULE OF SEA" FOLLOWED  
 Women and Children Put Over in Lifeboats and Are Expected to be Safe on Carpathia.  
 PICKED UP AFTER 8 HOURS  
 Vincent Astor Calls at White Star Office for News of His Father and Leaves Wrecking.  
 FRANKLIN HOPEFUL ALL DAY  
 Manager of the Line Insisted Titanic Was Unsinkable Even After She Had Gone Down.  
 HEAD OF THE LINE ABOARD  
 J. Bruce Ismay, Making First Trip on Olympic Ship, Took Wife and Boy with Him.  
 It is believed that the Titanic, the largest vessel in the world, had been built to an extreme and had gone to a bottom of the Atlantic probably within 100 miles of her last voyage and crew with her, was about 100 miles from New York at the time of the disaster.



Biggest Liner Plunges to the Bottom at 2:20 A. M.  
 RECOVERERS THERE TOO LATE  
 Except to Pick Up the Few Hundreds Who Took to the Lifeboats.  
 WOMEN AND CHILDREN FIRST  
 Commander Carpathia Rushing to New York with the Survivors.  
 SEA SEARCH FOR OTHERS  
 The California Starts by an Chance of Picking Up Other Stragglers.  
 OLYMPIC SENDS THE NEWS  
 Only Ship to Reach Wrecking Site before Titanic Sinks.

LATEST REPORT SAID 866 RESCUED, 1250 PERISH  
 NEW YORK, April 15 (AP)—A rescue party of 100 men and women left at 10:30 A. M. for the wrecking site of the Titanic, the largest ship in the world, in New York harbor today. They are being sent to the wrecking site.

The Lost Titanic Being Towed Out of Belfast Harbor.



前頁の④の例は、タイタニック号の航路や沈没地点の地図、細野氏の手記とともに、当時の新聞記事 *The New York Times* を載せている。見出しから内容を読み取る活動で、本文までは読めない活字の大きさだが、課の内容を深めるのに非常に効果的な役割をしている。

また4)の創作的なコミュニケーションの場面を教材の一部として導入している教科書は36種類のうち9種類で、以下がその例である。増進堂の *New Stream English*

やってみよう

2



次の求人広告を読み、どのような職業の求人広告が考えてみましょう。

<b>We are seeking friendly, active persons to join our company.</b>	
<b>Age</b>	Must be at least 20 years old.
<b>Education</b>	A junior college or college graduate. Able to speak, read, and write English and one other language.
<b>Physical state</b>	Neat, fit and in good health. Have to carry heavy things, and stand for eight hours at times during travel. Should be taller than 160 cm.
<b>Experience</b>	Working with the public is necessary.

3



あなたのやりたい仕事(Dream Job)は何ですか。また、なぜその仕事をしたいと思いますか。英語で書いてみましょう。

Dream Job
.....
Reasons
.....
.....
.....
.....

*Course I* において、‘Choosing the Right Career’ の課で、職業選択において考えなければいけないことの内容のあとに、自分のやりたい仕事を英語で書く活動を求めている。

(2) 問題点

a) Communicative Approach の日本での短所

もともとヨーロッパの移民労働者に伝達能力をつける外国語教育中心なので、日本の状況とかなり違い、日本の英語教育に合わない面がある。概念や機能を中心としたシラバスの教材作成は難しく、複雑な表現を理解する能力の発達が期待できないという指摘もある(樋口2007)。筆者が学生にとったアンケートでも、「文法がわからない」という悩みが多く、授業でも品詞や語順の基礎を復習する必要性が増している。

b) 教科書における「言語の使用場面」

3) の多くの人を対象としたコミュニケーションの場面で、他の教材との関連性をもたせることができず、特別な頁を作成している場合が、英語 I の36種類の教科書のなかでは、14種類ある。課と課の間に、‘For Communication’, ‘Communication Plaza’ など、コミュニケーションを含むタイトルをつけたページが多い。この場合、時間の関係で抜かされる可能性も大きく、また新聞記事作成などの場合は、手順がなく唐突な活動は無理がある。次の頁は桐原書店の *English Pal I* の天気予報の例である。


4) 創作的コミュニケーションの場面で、特別な頁を作成している場合は、英語 I の36種類のうち27種類あり、この場面は教材の一部としての導入が非常に難しい。次は一部分の例だが、授業で実践するには、教員の負担や、時間的余裕の面から、かなり難しいものもある。60頁は教育出版の *Lingua-Land English Course I Revised Edition* のビデオ制作のページである。

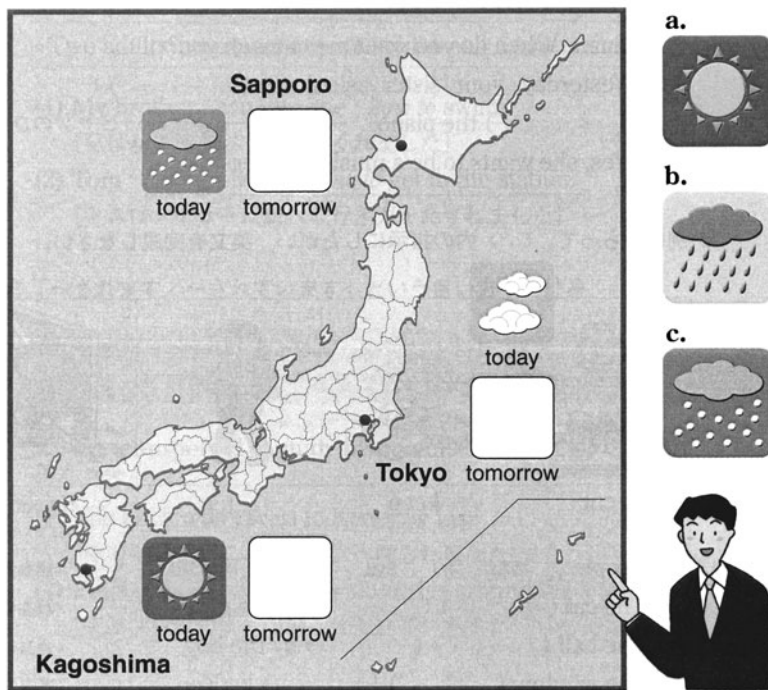
(3) 多くの人を対象としたコミュニケーションの場面例

本、新聞、雑誌、広告、ポスター、ラジオ、テレビ、映画、情報通信ネットワーク  
など

(英語 I の教科書例)

Communication Plaza 4-1 ..... 明日の天気は？

 天気予報を聞いて、各都市の天気を a~c から選び、記号を  に書きなさい。




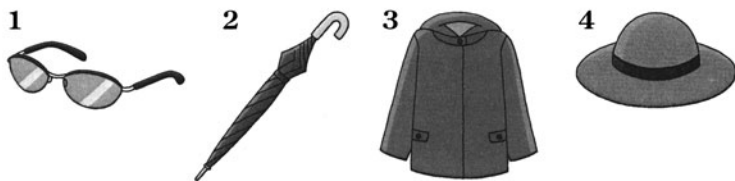
The map shows three cities: Sapporo, Tokyo, and Kagoshima. For each city, there is a 'today' weather icon and a 'tomorrow' box. To the right of the map are three weather icons labeled a, b, and c. A man in a suit is pointing at the map.

- Sapporo:** today (cloud with rain), tomorrow (  )
- Tokyo:** today (clouds), tomorrow (  )
- Kagoshima:** today (sun), tomorrow (  )

Weather icons on the right:

- a.** Sun
- b.** Cloud with rain
- c.** Cloud with sun and rain

 **Task** リサと母親の会話を聞いて、もっともふさわしい持ち物 [服装] を選びなさい。

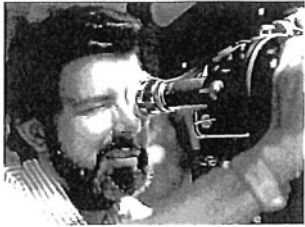


- (4) 創作的なコミュニケーションの場面例  
朗読、スキット、劇、校内放送の番組、ビデオ、作文など  
(英語 I の教科書例)

## 英語版ビデオを作ろう！


### 未来のジョージ・ルーカスをめざして

ジョージ・ルーカスは学生のころ、父親が買った8ミリ・カメラで映像を撮り始めました。そこで、未来のジョージ・ルーカスをめざして、グループごとに英語版ビデオを作ってみましょう。テーマは「学校生活でいちばん楽しいとき」です。次の手順を参考に傑作を作りましょう。



1. 設定を考える  
 テーマに基づいて、具体的な設定を考えます。昼食の時間、クラブ活動、体育の授業など学校生活のいろいろなものから何を撮るのか決めていきます。
2. 台本(シナリオ)を作る  
 撮りたいものが決まったら台本(シナリオ)を作ります。ストーリーを考え、必要な場面、台詞(英語)、ナレーション等を考えていきます。
3. 絵コンテ(映像場面イメージ)を作る  
 ストーリーができたら、実際にどんな映像が必要か絵コンテを描いていきます。カメラの位置やアングルによって映像の流れは変わってきます。なるべく具体的にイメージしておき、被写体の行動パターンを頭に入れておくと、よい映像が撮れるでしょう。

昼食の時間を示す時計 お弁当を広げる生徒 パンを買う生徒 食べているときの笑顔



4. ビデオ・カメラを回す  
 準備ができたら、実際に撮っていきます。見る人が飽きないように立体的で動きのある映像を撮りましょう。
5. 編集する  
 すべて撮り終わったら、必要なシーンごとに編集していきます。見る人がわかりやすいように映像をつなぎ、バックに入る音楽なども考えましょう。

完成したら上映会をしましょう。自分たちが撮ったものを、他の人たちがどう評価してくれるのか、初めに予想しておくとも面白いでしょう。

## おわりに

「言語の使用場面」の英語 I に関して扱ったが、高校の科目にはそれぞれの特性があるので、すべての教科書一律に「言語の使用場面」の4つのコミュニケーション場面の導入を求めることに無理があると感じる。コミュニケーションの場面設定だけが目的とならないように、英語の言語材料と関連付けることが大切であり、授業で実践できる可能性のある活動を導入することも大切であると思う。活動があまりに複雑で高度であると、限られた時間のなかでは、省かざるえないことも多いと想像する。学習指導要領において、コミュニケーション活動項目を教科書に指定しても、実際どのように教室で提示・指導するのかは、すべて教員裁量である。学校教育で養うべき基礎力の定着のために、言語材料とのバランスを常に考えることが大切であると思う。

## 参考文献

- 伊藤健三・小池生夫（1984）「応用言語学と中・高英語教科書」『英語展望』NO.82  
ELEC
- 井村誠（2002）「コミュニケーション能力の育成と言語文化教育」『言語文化教育学の可能性を求めて』三省堂
- 菅正隆・古賀範理・平田和人・新里眞男・森住衛・渡邊時夫（2002）「検証と展望：文部省戦後半世紀の外国語教育政策」『英語教育 Fifty』5月号 大修館書店
- 古賀範理（2000）「学習指導要領一般編（試案）の作成経緯について」『久留米大学外国語研究所紀要』第7号
- （2002）「日本における外国語教育政策の現状と問題点」『久留米大学外国語教育研究所紀要』第9号
- 小寺茂明・吉田晴世（2005）『英語教育の基礎知識』大修館書店
- 高島英幸（2001）『英語のタスク活動と文法指導』大修館書店
- 高橋正夫（2001）『実践的コミュニケーションの指導』大修館書店
- 田中正道（2000）『英語の使用場面と働きを重視した言語活動』教育出版
- 東川直樹（2006）「日本人はどんな英語を学んできたか」『英語教育』12月号 大修館書店
- 三浦省五（1993）『英語の学習意欲』大修館書店
- 望月昭彦（2006）『新学習指導要領にもとづく英語科教育法』大修館書店
- 森住衛（1995）「学習指導要領の変遷が意味すること」『英語教育』9月号 大修館書店
- （1996）「〈外国語教育＝英語教育〉でよいのか？」『英語教育』6月号 大修館書店

- 森住衛 (1998) 「英文法を見直す視点——〈学習指導要領〉の変遷と将来を見る」『英語教育』3月号 大修館書店
- (2001) 「英語教育の根本を考える—時代を乗り越える不変なものとは何か—」『現代英語教育の言語文化学的諸相 (齊藤栄二教授退官記念論文集)』三省堂
- (2000) 「特集：英語教育キーワード2000」『英語教育』9月号 大修館書店
- 文部省 (1998) 『中学校学習指導要領』大蔵省印刷局
- (1999) 『高等学校学習指導要領』大蔵省印刷局
- (1999) 『中学校学習指導要領解説—外国語編』東京書籍
- (1999) 『高等学校学習指導要領解説—外国語編 英語編』開隆堂
- 廣森友人 (2006) 『外国語学習者の動機づけを高める理論と実践』多賀出版
- 八島智子 (2004) 『外国語コミュニケーションの情意と動機』関西大学出版部
- 吉島茂・大橋理恵 訳・編 (2004) 『外国語の学習, 教授, 評価のためのヨーロッパ共通参照枠』朝日新聞社
- 米山朝二 (1997) 『英語教育 実践から理論へ』待柏社
- R.J. ウラッドコースキー著 新井邦次郎・鳥塚秀子・丹波洋子 (1991) 『やる気を引き出す授業』田研出版
- 若林茂則・白畑知彦・坂内昌徳 (2006) 『第二言語習得研究入門』新曜社
- Clement, R., Dornyei, Z., & Noels, K. (1994) Motivation, self-confidence, and group-cohesion in the foreign language classroom. *Language Learning*, 44(3)
- Dornyei, Z., & Scott, M.L., (1997) Communication strategies in a second language: Definition and taxonomies. *Language Learning*, 27
- Dornyei, Z. (2001) *Teaching and researching motivation*. Harlow, UK: Pearson Education Limited
- Gardner, R. C., Tremblay, P. F., & Masgoret, A. M. (1997) Toward a full model of second language learning: An empirical investigation. *Modern Language Journal*, 81

## 資料

## 英語Ⅰ (3単位) 36種類

発行者	書名
東書	All Aboard! English
東書	Power On English
東書	PROMINENCE English
開隆堂	Revised Edition SUNSHINE English Course
開隆堂	Revised Edition ENGLISH NOW

## 英語Ⅱ (4単位) 44種類

発行者	書名
東書	All Aboard! English II
東書	Power On English II
東書	PROMINENCE English II
開隆堂	Revised Edition SUNSHINE English Course II
開隆堂	Revised Edition ENGLISH NOW II

高校英語教科書における「言語の使用場面」の扱い

英語 I

三省堂	CROWN English Series New Edition
三省堂	EXCEED English Series New Edition
三省堂	VISTA English Series New Edition
教出	Magic Hat English Course
教出	Lingua-Land English Course Revised Edition
開拓社	NEW LEGEND ENGLISH
大修館	Genius English Course Revised
大修館	Captain English Course Revised
啓林館	ELEMENT English Course
啓林館	LovEgn. English Course
啓林館	ACORN English Course
数研	Revised POLESTAR English Course
数研	BIG DIPPER English Course
文英堂	NEW EDITION UNICORN ENGLISH COURSE
文英堂	New EDITION POWWOW ENGLISH COURSE
文英堂	NEW EDITION Surfing ENGLISH COURSE
池田	Revised Edition DAILY English Course
池田	Onstage English Course
旺文社	Step English Revised Edition
旺文社	English Navigator
増進堂	NEW STREAM English Course Second Edition
増進堂	MAINSTREAM English Course Second Edition
第一	Voyager English Course NEW EDITION
第一	Vivid English Course NEW EDITION
第一	Viva English NEW EDITION
三友社	NEW WORLD ENGLISH COURSE
三友社	COSMOS ENGLISH COURSE
桐原	PRO-VISION ENGLISH COURSE New Edition
桐原	WORLD TREK ENGLISH COURSE NEW EDITION
桐原	NEW English Pal New Edition
スクリ	SCREENPLAY English Course

英語 II

三省堂	CROWN English Series II New Edition
三省堂	EXCEED English Series II New Edition
三省堂	VISTA English Series II New Edition
教出	Magic Hat English Course II
教出	Lingua-Land English Course II Revised Edition
開拓社	NEW LEGEND ENGLISH II
大修館	Genius English Course II Revised
大修館	Captain English Course II Revised
啓林館	ELEMENT English Course II
啓林館	LovEgn. English Course II
啓林館	ACORN English Course II
数研	Revised POLESTAR English Course II
数研	BIG DIPPER English Course II
文英堂	NEW EDITION UNICORN ENGLISH COURSE II
文英堂	New EDITION POWWOW ENGLISH COURSE II
文英堂	NEW EDITION Surfing ENGLISH COURSE II
池田	Revised Edition DAILY English Course II
池田	Onstage English Course II
旺文社	Step English II Revised Edition
旺文社	English Navigator II
増進堂	NEW STREAM English Course II Second Edition
増進堂	MAINSTREAM English Course II Second Edition
第一	Voyager English Course II NEW EDITION
第一	Vivid English Course II NEW EDITION
第一	Viva English! II NEW EDITION
三友社	NEW WORLD English Course II Revised Edition
三友社	NEW COSMOS English Course II Revised Edition

## リーディング（4単位） 27種類

発行者	書名
東書	PROMINENCE English Reading
東書	Power On English Reading
開隆堂	Revised Edition SUNSHINE Reading
開隆堂	SUNSHINE Advanced Reading
三省堂	ORBIT English Reading New Edition
三省堂	EXCEED English Reading
三省堂	CROWN English Reading
教出	Magic Hat English Course READING
開拓社	NEW LEGEND ENGLISH READING
大修館	Genius English Reading Revised
啓林館	ELEMENT English Reading
啓林館	MILESTONE English Reading
数研	Revised POLESTAR Reading Course
文英堂	POWWOW ENGLISH READING
文英堂	Surfing English Reading
文英堂	UNICORN ENGLISH READING
池田	Revised Edition NEW STAGE English Reading
池田	DAILY ENGLISH READING
旺文社	Planet Blue Reading Navigator Revised Edition
増進堂	NEW STREAM Reading Course
増進堂	MAINSTREAM Reading Course
第一	Voyager Reading Course NEW EDITION
第一	Vivid Reading NEW EDITION
三友社	NEW COSMOS READING Revised Edition
桐原	PRO-VISION ENGLISH READING New Edition
桐原	WORLD TREK ENGLISH READING
*桐原	PRO-VISION ENGLISH READING

## 英語Ⅱ

桐原	PRO-VISION ENGLISH COURSE II New Edition
桐原	WORLD TREK ENGLISH COURSE II NEW EDITION
桐原	NEW English Pal II New Edition
スクリ	SCREENPLAY English Course II
*啓林館	Tomorrow English Course II
*文英堂	POWWOW ENGLISH COURSE II
*文英堂	Sruifing English Course II
*文英堂	UNICORN ENGLISH COURSE II
*増進道	NEW STREAM English Course II
*第一	Viva English! II
*三友社	NEW WORLD ENGLISH COURSE II
*三友社	COSMOS ENGLISH COURSE II

※現行学習指導要領において、初回の検定を受けた教科書

※池田：池田書店  
 第一：第一学習者  
 桐原：桐原書店  
 スクリ：スクリーンプレイ  
 東書：東京書籍  
 教出：教育出版  
 数研：数研出版